

## みんなで守ろう、大河原ルール!!

明日青のつどい～励まして育てよう笑顔の青少年～



▲アンケート調査の集計結果などを用いて、実状を発表する代表生徒。

1月28日に、中央公民館で「明日青のつどい（主催：大河原町「明日の青少年を育てる会」）」が開催されました。昨年に引き続き、「ゲーム・携帯・スマホのよりよい使い方を考えよう」をテーマに、町内5つの小中学校の児童生徒代表とPTA代表が、「大河原ルール（小中学生のゲーム・携帯・スマホの午後9時以降使用禁止）」を決定した後の取組や実状、さらには今後の課題と取組などを発表しました。どの学校も大河原ルールが守られている一方で、守れない人もあるという実状がありました。また、PTA代表の発表では、大河原ルールを守れない理由の一つに「親がスマホを常時利用しているから、子どもにも制限できない」という話も聞かれました。

大切な子どもたちを守るためにも、町全体で大河原ルールを理解し、取り組んでいきましょう。

## 雅楽の響きを堪能

ロビーコンサート

お昼の時間を利用し、役場町民ホールで毎月開催されているロビーコンサート。今年度第10回目となった2月8日のコンサートでは、「雅楽の世界」による演奏が行われ、会場が神聖な空気に包まれました。

雅楽は世界最古のオーケストラで、古代中国を起源として奈良時代に日本に伝わった音楽と言われています。神社などで耳にしている人も多いのではないのでしょうか。今回は、「平調の音取」と平調「越天楽」、平調「陪臚」の3曲に加え、アンコールでは「抜頭」という曲が披露され、来場者は雅楽の音色に心が浄化されるような安らぎのひとときを過ごしました。



▲龍笛を奏でた大崎市斗瑩稲荷神社の橋本さん(左)、筆楽を奏でた町内大高山神社の早坂さん(中央)、鳳笙を奏でた角田市熱日高彦神社の八島さん(右)。

## 体を整えて歩きましょう

「歩きたくなるまち」創造事業  
コンディショニング教室



▲有吉講師のユーモアあふれる指導により、会場内は終始笑顔に包まれていました。

2月5日、総合体育館柔・剣道場にて「コンディショニング教室～歩くのが楽になるためのコンディショニング～（主催：大河原町、NPO法人大河原町スポーツ振興アカデミー）」が開催されました。当日は、日本コンディショニング協会会長兼コンディショニングトレーナーの有吉与志恵さんを講師に迎え、約100名のかたが参加しました。

コンディショニングとは、筋肉、姿勢、呼吸などを正常に整える運動。有吉講師は、歩き方の癖で歪んだままで歩き続けると、筋肉や関節に負担がかかることから「ただ歩数を増やす歩き方ではなく、体の歪みを正して歩くこと。ここがポイント」と強調しました。代謝の要といわれる足裏、足指、足首、膝を中心に時間をかけてコンディショニングを実践。体がぼかぼか、スッキリしていくのがわかり、参加者は体に良い運動の仕方を実感しながら学んでいました。

## 夢の実現に向けて 第54回大河原中学校立志式

大河原中学校伝統の「第54回立志式」が、2月3日えずこホールで行われました。今年立志式を迎えたのは2年生212人で、各クラスの代表生徒7人がステージ上で、映画監督や、プロのパドミントン選手になるなどの将来の夢と、実現に向けての決意を発表しました。その後は立志生全員でステージに登壇し、記念合唱を行い、また、夢を実現させた先輩の一人である、ローラーペインターのさとうたけしさんを見事な英語スピーチで紹介しました。最後に代表者による感謝の手紙の朗読では、来場した多くの保護者のかたが涙を流していました。立志生たちはこの立志式を通して、将来への決意、目標を明らかにし、大人としての一歩を踏み出しました。



▲将来への決意を胸に抱きながら、力強く合唱しました。

▲代表者（山田海斗さん）が保護者のかたへ感謝の気持ちを伝えました。

### 町民の声

おたより  
ご紹介

○販売実習から感じた  
地域の方々の支え

僕はコミュニケーションが苦手な販売実習は嫌でした。インターホンを押すと緊張はMAXに達し、まともに販売なんてできませんでした。でも、そんな僕にも地域の方々は笑顔で優しく接し、野菜を購入してくれました。完売できたときは嬉しいのですが、「柴農の野菜はうまい!」「君が頑張っているから買うよ!」「いつもありがとう!」と温かいメッセージとともに買ってくれた瞬間のほうが何倍も嬉しかったです。

人と話すのは今でも苦手ですが、地域の方々とは色々な話をし、販売実習も人と関わることも楽しくなりました。僕が少し変わったのは地域の方々のおかげです。こちらこそ「ありがとうございます!」と言いたいです。これからも栄養たっぷりの農産物と柴農生の元気や笑顔をたくさんお届けできるように日々の学校生活を頑張ります。来年度もよろしくお願ひします。

宮城県柴田農林高等学校  
食農科学科・動物科学科  
1年1組生徒代表

### 駅前図書館今月の新刊「まちの本棚」

一般／発達障害の僕が輝ける場所をみつけた理由  
栗原 類／著 [KADOKAWA]  
8歳で発達障害と診断された栗原類は、なぜ自分の才能を生かす居場所をみつけたのか。役者として歩んできたこれまでの道のりを語る。母、主治医、又吉直樹のインタビューも収録。

小説／七月に流れる花  
恩田 陸／著 [講談社]  
鏡の中に不気味な「みどりおとこ」の影を見つけたミチル。手元には夏流城での林間学校への招待状が残されていた。ミチルは5人の少女と濃い緑色のツタで覆われた古城での共同生活を始めるが…。

児童／銀杏堂  
橘 春香／作絵 [偕成社]  
骨董屋「銀杏堂」の女主人・高田さんが世界中を旅してあつめた、自慢の品々。

絵本／「よう!」  
ザ・キャビンカンパニー／作 [小学館]  
ひろくふかくつくしいうみから、「によっ!」ととびだしてきたあれ、ななに? にんぎょのポニーテール? かびとむしのつ? またなにがかがとびだしてきた! あたまたまわらかくなるアイデアにあふれた、しんかんかくのもんどっえほん。